

平成29年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業 市民フォーラム

「最期まで地域で自分らしく生きるために」を開催しました。

- 日 時：平成30年3月11日（日）14：00～16：00
- 場 所：沖縄県共同参画センターていりる
- 参加者：100名

※参加者アンケート結果については別紙を御覧ください。



城間幹子那覇市長あいさつ



山城千秋那覇医師 会長あいさつ

（基調講演）

「超高齢社会に救命救急医が挑む-在宅医療 20年間の経験から-」



【講師】泰川 恵吾氏（ドクターゴン診療所 院長）

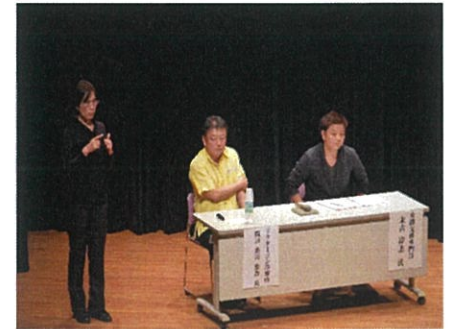


【座長】喜納 美津男氏（きなクリニック院長）



（来場者からの質疑応答）

「那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会委員とフロアとの質疑応答」



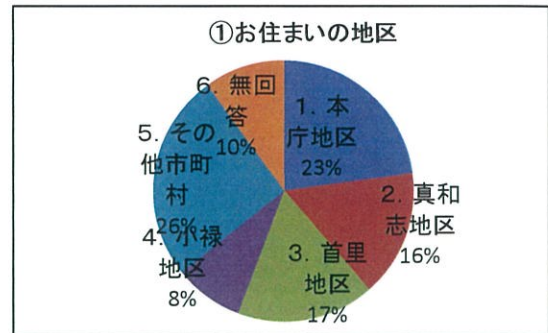
在宅医：嘉数朗氏、歯科医師：高良孔明氏、訪問看護師：宮城愛子氏、薬剤師：笠原大吾氏、管理栄養士：吉田陽子氏、作業療法士：末吉珠代氏、介護支援専門員：末吉淳志氏、ドクターゴン診療所：泰川恵吾氏、座長：喜納美津男氏



平成29年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業
 市民フォーラム「最期まで地域で自分らしく生きるために-在宅医療20年間の経験から-」
 アンケート集計結果（平成30年3月11日実施）参加者95名、回答者70名

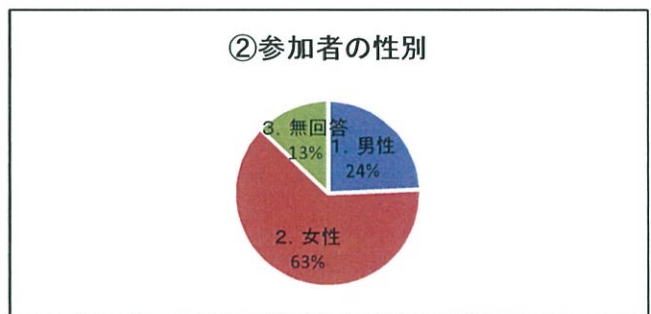
①お住まいの地区

選択肢	数	%
1. 本庁地区	16	23%
2. 真和志地区	11	16%
3. 首里地区	12	17%
4. 小禄地区	6	9%
5. その他市町村	18	26%
6. 無回答	7	9%
計	70	100%



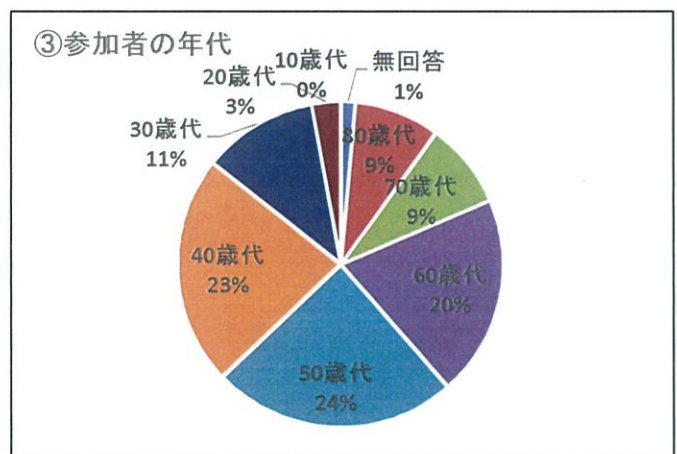
②性別

選択肢	数	%
1. 男性	17	24%
2. 女性	44	63%
3. 無回答	9	13%
計	70	100%



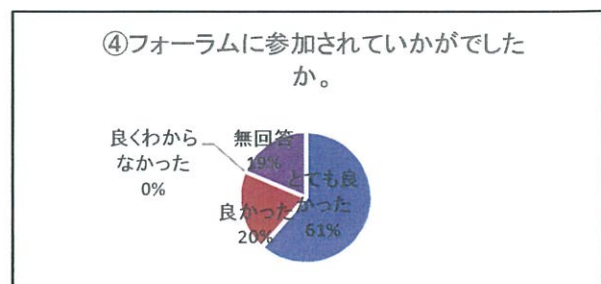
③参加者の年代

選択肢	数	%
1. 10歳代	0	0%
2. 20歳代	2	3%
3. 30歳代	8	11%
4. 40歳代	16	23%
5. 50歳代	17	24%
6. 60歳代	14	20%
7. 70歳代	6	9%
8. 80歳代	6	9%
9. 無回答	1	1%
計	70	100%



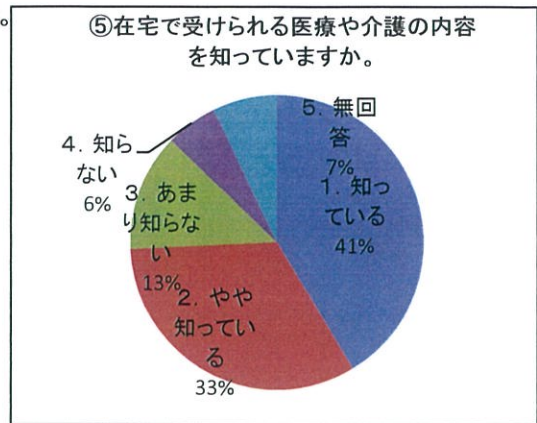
④本日のフォーラムに参加されていたいかがでしたか。

選択肢	数	%
1. とても良かった	43	61%
2. 良かった	14	20%
3. 良くわからなかった	0	0%
4. 無回答	13	19%
計	70	100%



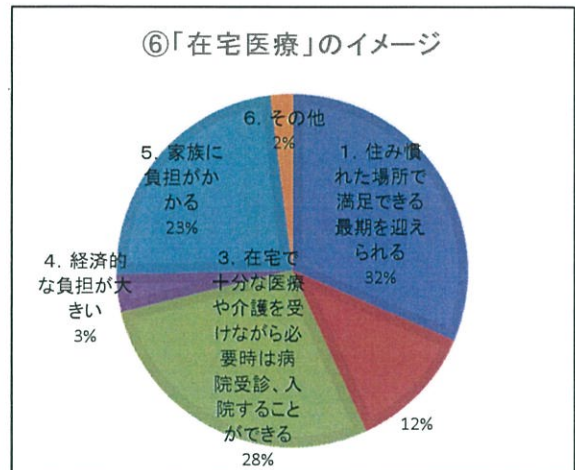
⑤在宅で受けられる医療や介護の内容を知っていますか。

選択肢	数	%
1. 知っている	29	41%
2. やや知っている	23	33%
3. あまり知らない	9	13%
4. 知らない	4	6%
5. 無回答	5	7%
計	70	100%



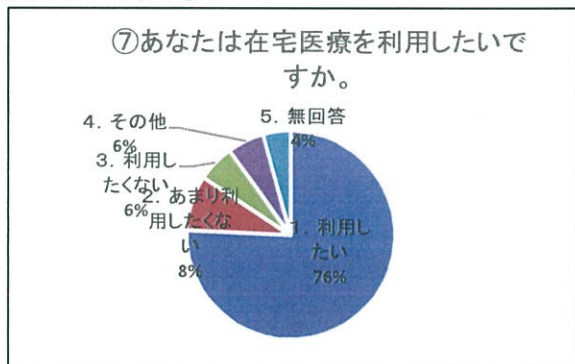
⑥「在宅医療」についてどのようなことをイメージしますか。

選択肢	数	%
1. 住み慣れた場所で満足できる最期を迎えられる	46	32%
2. 在宅では、急に病状が変わった時の対応が難しい	17	12%
3. 在宅で十分な医療や介護を受けながら必要時は病院受診、入院することができる	41	28%
4. 経済的な負担が大きい	5	3%
5. 家族に負担がかかる	34	23%
6. その他	3	2%
計	146	100%



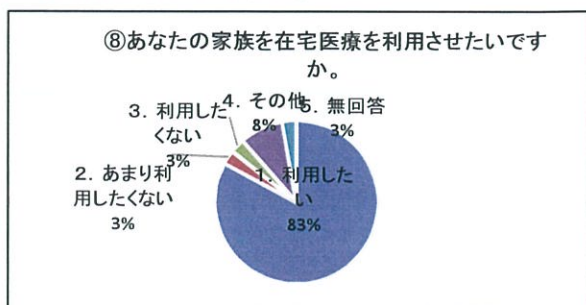
⑦あなたに医療と介護が必要となった時、在宅医療を利用したいですか。

選択肢	数	%
1. 利用したい	53	76%
2. あまり利用したくない	6	8%
3. 利用したくない	4	6%
4. その他	4	6%
5. 無回答	3	4%
計	70	100%



⑧あなたの家族が医療と介護が必要となった時、在宅医療を利用させたいですか。

選択肢	数	%
1. 利用したい	58	83%
2. あまり利用したくない	2	3%
3. 利用したくない	2	3%
4. その他	6	8%
5. 無回答	2	3%
計	70	100%



6. 在宅医療・介護を推進するために必要なことは何だと思えますか。

<p>一般</p> <ul style="list-style-type: none">○家族の介護に対する愛情、理解、費用など、苦労があると思うので、十分なゆとりが必要だと思う。○情報：自分が必要とする介護、医療支援の情報。地域：隣近所との付き合い○すべての理解と協力。あと元気のうちにたくさんの医療と知識を学ぶこと○お金
<p>医療職</p> <ul style="list-style-type: none">○その制度や実際を啓蒙すること、情報提供を切れ目なく行う○那覇市地区でモデルになっている地域があれば実際を示すところができるといい○家族の協力、そして地域のコミュニティ○多職種連携が必要だと思う。在宅医が増えると良いなと思う。○家族の協力○みんなにこういう制度があることを知って頂く○一人一人の死生観の教育。一人一人が悔いの残らない人生を送るために、今この時からの教育とその考え方の共有が大切。支える側も支えられる側も癒しとなる空間、こうしたフォーラムが必要不可欠であります。○在宅医療・介護協力者を整える。家族だけの介護では、体力、気力にも限界があると思います。覚悟して在宅医療に取り組む医師がたくさん必要ですね。○病院内でも退院がうまくできない（戻れる場所がない）等問題もあると思うので在宅の必要性をもっと医療スタッフに関わってもらわなければならないと思います。○みなさんへの在宅医療についての理解を深めるための説明、知ってもらうことがとても大切だと思います。○在宅医療や介護は必要と思われるとき、どうしたらいいかのかということをつわらない人も身近にいることがあるので、そのような方に相談窓口があることを周知できるようにしてほしい。○退院後にスムーズな在宅移行ができるシステム○意思決定支援を一般人ができる○本人の意思をくみ取り、安心して過ごせるように、多職種が連携を取る必要があると思う。○周知、コミュニケーション、フィードバック
<p>介護職</p> <ul style="list-style-type: none">○医療従事者、介護従事者などの多職種の連携と医療従事者同士、介護従事者同士の連携を今より積極的に行っていき、患者さま（利用者さま）にとってより良いサービス提供ができることに繋がると思います。2025年地域包括ケアシステムまでに、早めに連携を取り組んでいくべき○「自宅で看取る」ということはどういうことか、知識を広めていく活動が不可欠。また、私たちからすると、一見敷居が高い「医師」といかに密に関われるか（信頼を築けるか）も課題だと感じます。病院にお勤めのDrがまだまだ在宅医療に関わっている専門職（ケアマネ等）への理解が少ないのも現状だと感じます。○多職種との連携○玉井先生が言っていたみんなを支えあう。自分に何ができるかねーと考えるが大切だと思います。

福祉職
<ul style="list-style-type: none"> ○必要な情報が確認できる窓口 ○本人、家族の理解、まわりの協力 ○支援を必要としているひとに一人が頑張るのではなく、周りでちょっとずつできることを支援する思いと行いが必要と感じます。隣の人を気に掛けることだけでも大きな力になると思います。 ○本人、家族を含めたIT活用の共有システム ○生きることはいろんな人との繋がりであることを日々の暮らしで感じる地域づくり。社協+自治会+教育+α
行政
<ul style="list-style-type: none"> ○周知啓発、情報発信 ○急変した場合にも対応してくれる医療の充実 ○専門職の連携と本人、家族の理解
学生
<ul style="list-style-type: none"> ○家族のケア 看取りや死別を経験した家族は、「もっとやれることがあったはず」という思いを抱えている人が多いのに驚く
なし
<ul style="list-style-type: none"> ○在宅医療は理想的ですが、現実の問題として、我々のように夫婦二人暮らしで、人手がない者にとっては難しいことです。また、急変したときに、かけつけて下さるいわゆる往診してくれる医師はどの程度いらっしゃるのでしょうか。 ○在宅医療をよく理解する（本人が）よう努めたい。障害の軽い人が自分より重い人を支えることによって軽い人も励みになり、お互い様の輪が広がると良いと思います。 ○家族も病院がよいしながら、在宅医療と負担どうかなと思ったりします。 ○人材や資金、会場での助け合い募金はだめですか。 ○周知徹底 ○情報を広める必要がある ○定期的に事業内容や活動状況を知らせる機会を作ってほしい。どこで何をしているのか、どうやってコンタクトを取ればいいのかわかりません（パンフレットよりも直接話が良いと思います） ○人材です！ ○制度の充実（サービスの重複利用、マンパワーの確保、スタッフの資質向上など）家族側の情報収集・意識づけ、依存の問題等 ○情報
その他
<ul style="list-style-type: none"> ○祖父母、両親等の子供、子孫（中学生、高校生）をターゲットに啓蒙する。孫や子供の進言には切実感を感じると思う（ボランティア） ○お金 ○部屋を掃除してくれる人 ○在宅医療・介護、終末等の知識と、知るための手立てについて、まだ知られていない。各部落での相談会、学習会等ができれば普及に繋がるとは思いますか？ ○家族の協力、ケアマネージャー在宅医療の先生との信頼関係

- 嘉数先生の主治医が紹介状まで書いて下さるといいですね。
- 家族や地域の方々と仲良く助け合いたい
- 患者家族の協力、主治医の先生の理解
- 一人一人がお互い様の気持ちで助け合いの心大事にしたい
- 相互理解、家族の体力

7. ご意見やご感想

一般

- とても良いフォーラムでした
- とてもいいフォーラムだったと思う。もっといろいろなところでやってほしい

医療職

- 勤務医や在宅医療をやっている開業医の方にも来てほしかったです。
- じっくり腰で講演を聞くことが出来なかった妻や事務所で教育研修として泰川先生の講話を録音させていただきました。学びとして活用いたします。
- 素晴らしいフォーラムでした。ただ、参加者がもっと多いと良かったとも思いました。スタッフのみなさまご苦労様でした。ありがとうございました。
- とてもいい経験になりました。周囲に広めていきたいと思います。また、少しでも在宅医療・介護の手助けができるようにしていきたいと思います。
- もっと多くの一般市民が来てくれたらよかったですと思いました。もっと普段着の感じが出ると良いのではないかと思います。
- 那覇市の在宅医療の取り組みに期待します。
- とても盛沢山の内容で、もっとゆっくりお伺いしても良かったと思うくらい内容が濃ゆかったです。素晴らしい講演、ありがとうございます。質疑応答もとても良かったです。もっと多くの人聞く機会があれば良かったと思いました。
- 病院で看護師をしています。前々から病院で急病で運ばれ何も決まっていなかった場合の救命等必要でない処置を人生の最期に受けることになってしまった人等を見てきて、病院での看取りに疑問を感じていました。ちょうど一年前、同居していた祖母が末期がんとわかり、迷わず在宅を選択し、自宅で看取りました。看護の間は最善の方法を取っていたつもりでしたが、がんとわかって死ぬまで祖母はほとんど話さなくなり表情もなくなっていました。葬儀後、テレビで、京都で若い頃から在宅を広めてきた医師が今90代となり自らが在宅医療を受けるようになって「あれだけ進めてきた在宅だけど、いざ自分の身になると本当にこれが最善かわからなくなった。住み慣れた自宅で少しづつ弱り死んでいくのもむごいことだと思う」というようなことをおっしゃっていました。私の祖母はまさにそのような心境だったのかともすごく腑に落ちた思いがありました。今日のお話とはずれていると思いますが、どのように死ぬか、どれが一番良い方法なのか、とても難しいテーマですね。・自分がその時にならないとわからないことなんだろうと思います。少なくとも自分の意思は家族に伝えておこうと思います。今日はありがとうございました。

介護職
<p>○とても参考になりました。明日からの活力になるフォーラムをありがとうございました。</p> <p>○参加できてよかったです。那覇市は素晴らしい。ありがとうございます。</p> <p>○宮古島の方はゴン先生がいて幸せだなと思いました。一人一人はちゅいしーじー、頑張りたいです。</p> <p>○介護職の舞台にいてくれたら良かった。</p>
福祉職
<p>○大変良かったです。</p> <p>○泰川先生が宮古島で診療を始められたとき、宮古島に住んでいました。今日直接話を聞く機会を得て、うれしいと思います。これから、自分がどんな役割が出来るのか、少しずつ関わりが持てるようにしていきたいと思います。ありがとうございました。</p>
行政
学生
○良い学びとなりました
なし
<p>○せっかくの泰川先生のお話、参加者が少なかったのは残念です。とても良いお話でした。泰川先生のような医師が増えることを望みます。もう少し宣伝すればよかったのではないのでしょうか。</p> <p>○このフォーラムに参加して良かった。ありがとう。在宅医療に県が力を入れていることを初めて知りました。私は78歳ですが、情報をキャッチしていきたいです。</p> <p>○講演にきて本当に良かったと思います。涙も出てきました。</p> <p>○3.11の黙とうがあったり、泰川先生のVTRを交えた講演。心に訴えるものがあった。また、在宅でもできる検査、処置、オペも想像を超えていて驚いた。質疑応答も勉強になった。</p>
その他
<p>○ありがとうございました。感動しました。</p> <p>○感激しました。ありがとうございます。</p> <p>○有意義な講演ありがとうございました。自身の老いに少し安堵できました。先生の益々のご活躍を念じています</p> <p>○もっと告知して、沢山の人の（特に医療従事者）に聞いてほしかった。もったいない！！</p> <p>○初めての参加で、知っておくべきことを改めて沢山あり、将来に向けて計画するのに大変参考になりました。ありがとうございました。</p> <p>○話をきいてくれるといいますが、聞くだけで返事がない（答えが準備されているのかな）「今は答えがない」とか待ってほしいとかでもいいので、高齢者介護は迷う。</p> <p>○とても勉強になりました。ありがとうございます。カフウシドウ</p> <p>○内容うんぬんというより、駐車場の確保ができていないのは最低です。会場の駐車場は満車で、近くの有料駐車場使いました。会社からの参加の割り振りされていたため帰ることもできず、暑い中歩いて行き来しました。スタッフさん達、自分の車はどこに止めましたか？</p> <p>○地域包括支援センターが機能していない</p> <p>○隣組とか、自治会とかの大人も子供も寄り集まるお隣さん、昔の心温まる場所を活性化したい。</p>